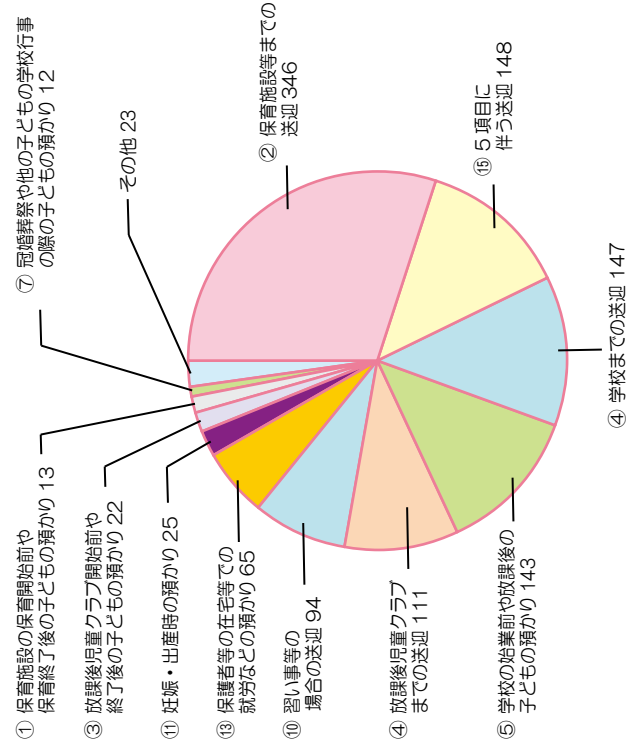


2021年度活動報告

援助活動一覧表

活動内容	件数
① 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	13
② 保育施設等までの送迎	346
③ 放課後児童クラブ開始前や終了後の子どもの預かり	22
④ 放課後児童クラブまでの送迎	111
⑤ 学校の始業前や放課後の子どもの預かり	143
⑥ 学校までの送迎	147
⑦ 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	12
⑧ 買い物等外出の際の子ども預かり	3
⑨ 習い事等の場合の送迎	94
⑩ 保育園・幼稚園・学校の休みの時の預かり	8
⑪ 妊娠・出産時の預かり	25
⑫ 保護者等の就職活動の場合の預かり	0
⑬ 保護者等の在宅等での就労などの預かり	65
⑭ 保護者等の病気その他急用の場合の援助	0
⑮ 上記5項目に伴う送迎	148
⑯ 病児・病後児の預かり	0
⑰ 宿泊を伴う預かり	4
⑱ その他（早朝・夜間等の緊急時の預かりなど）	2
⑲ 上記に伴う保育施設、病児・病後児施設、自宅等の間の送迎	6
合計活動件数	1149
キャンセル回数	319

活動内容別件数



依 頼 会 員	413 人	両 方 会 員	29 人
援 助 会 員	216 人	合 計	658 人

今年度の援助活動件数は1149件で、新型コロナウイルス感染症の影響で例年の半数程にとどまった昨年度に比べ、一昨年までと同程度の援助活動を行いました。利用内容は、保育施設、学校、放課後児童クラブ、習い事等への送迎や預かりに伴う送迎が全体の74%を占め、保護者の就労や妊娠・出産時などでの預かりが26%で、ほぼ昨年と同様の傾向でした。

一方で、今年度も新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年間でした。昨年度、会員の皆さんに県外訪問した場合は1週間の活動自粛をお願いし、その後のワクチン接種の拡がりやオミクロン株の感染拡大などで、その都度、対応方針を変更することになり、困惑された方もあったと思います。また、第2回援助会員養成講座を感染拡大防止のために中止し、新しい援助会員を増やすことができず、現会員の皆さんにはご無理をお願いすることになりました。おかげさまで、皆様のご協力のもと、活動中の感染もなく援助活動を続けることができました。ありがとうございました。

また、今年度の特徴としては、特別支援学校へ通う子どもの通学支援を行ったことがあげられます。スクールバスのバス停まで保護者が送迎できない場合など、潜在ニーズはあるのではないかと思います。ファミリーサポートセンターの相互援助活動を行うには限界があるため、関係機関と連携しながら、子どもを丸ごとサポートすることが必要であると感じました。このことは、すべての子どもたちに共通で、子どもの最善の利益を考え、地域の関係機関が連携して支援する体制を作っていきたいと思います。

援助会員養成講座

第1回
6/30、7/6、7/8、
7/10、7/14
参加者
新規5名
再受講7名

今年度の援助会員養成講座は、第1回のみの開催で、援助会員として登録されたのは3名でした。1月から2月にかけて予定していた第2回養成講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止にしました。申し込みいただいた方には大変申し訳なく、残念な思いです。3月にはフォローアップ研修として、養成講座の中の2講座を初めてのオンラインで開催し、新型コロナウイルスの収束が見えない中、講座のあり方を考える機会となりました。新型コロナウイルスの影響もあり、特定の援助会員に活動が集中している状況があるため、その状況を少しでも解消できるよう、援助会員の獲得に一層努力したいと思います。



ステップアップ講座

『発達障害のある子どもの関わり』講師：小泉 嘉美さん
(子ども発達総合支援センターそだちの丘 育ちサポート担当主査兼学校支援課指導主事)

10/16
10:00~12:00
参加者
援助会員14名

今年度は「多様な発達の仕方をしている子どもたちの理解と支援」について学びました。障がいがあるにかかわらず、声のかけ方見守ることの大切さ、視点を变えるなどファミリーサポートの活動に繋がる内容でした。子どもたちのさまざまな行動について、具体的な支援や心がけをあらためて振り返る講座になったのではないかと思います。今後もステップアップ講座では、日々の援助活動にいかしていただけるようにテーマをしばって講座を開催していきたいと思います。

交流会

『保育の心』10:00～あそび 10:40～まなび
講師：堀川美子さん(子育て支援アドバイザー)

11/10
10:00~12:00
参加者
会員親子1組
一般親子3組
援助会員等6名
計15名

交流会では、あそびとまなびの時間を設け、あそびでは堀川さんに絵本や紙芝居を読んでもらったり、わらべうたやスカーフ遊びなど大人と子どもがお互いの表情を見て触れ合いながら遊べる素敵な時間になりました。まなびでは、日頃お子さんと関わる中の悩みや気持ち話を話し合い学びました。参加された方からは、「自分で決めることを大切に、今の子どもをじっくり見守り成長を喜んでいこうと思いました」という声や、「わらべうたと共に絵本を一緒に楽しんで親子でほっと安心する時間を作りたいです」という声も聞かれ、またこういう機会を作りたいです。



フォローアップ研修会

3/17
13:00~16:15
参加者
援助会員9名
依頼会員1名
計10名
(内ZOOM参加8名)

『子どもの発達と発達障害』山口昌澄さん(高田短期大学子ども学科教授)
『児童虐待と社会的養護』林典亜(松阪市こども支援課こども家庭支援係主幹兼係長)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『2021年度第2回援助会員養成講座』は中止となり、今年度は『フォローアップ研修』としてオンラインでの開催をしました。オンラインでの開催という初めての取り組みで、不慣れな点も多くご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のなか無事終えることができました。参加してくださった依頼会員の方から「家で受講できるのは、子どもがいても参加しやすい。」という声もいただきました。今後も時代の流れに沿った取り組みを考え、進めていきたいと思います。